



# ふれあい

2010年9月  
現在の会員数  
男性 1,436人  
女性 532人  
合計 1,968人

No.127  
2010年/10月

題字 府中市長 野口忠直 書

社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2ふれあい会館2F/TEL042-366-2322



↑ 平成22年度臨時総会 9月30日  
交通安全パレードに参加 9月11日→

## 目次

- 臨時総会開催……………2
- 市長との懇談会開催……………3
- 就業開拓専門員の活動報告……………4
- 地域懇談会の開催と質疑内容……………5
- 商工まつりに参加……………6
- 安全推進大会の様相……………6
- シルバー川柳発表……………6
- 新しいメンバー……………7
- 「ゆうゆう」便り……………7
- お知らせ……………7
- 写真集(シルバーはいつも元気) ……8



## 平成22年度臨時総会を芸術劇場どりーむホールで開催

## 公益法人移行に伴う役員就任予定者を選任

平成22年度臨時総会が9月30日午後1時から改装された「府中の森芸術劇場どりーむホール」で開催されました。この総会で新公益法人へ移行の人事案や定款の改正が決議されるとあつて、時折の小雨の中、会員もやや緊張気味な面持ちで集まってきました。

総会は高木政邦理事の司会で遠藤正司副会長が開会のあいさつに立ち、出席会員34名、委任状提出者1,310名、合計1,654名のご出席を頂き定款の規定による4分の3以上の条件（定足数1,478名）を満たしていることで、総会は有効に成立していることを宣言し、本間幸男会長のあいさつに移った。

会長あいさつの要旨は「センターの最近の事業実績は、今年度5カ月間で前年対比一千六万四千円増加、プラス3.13%の増加となっております。発注者の皆様並びに会員皆様の努力の成果であり、改めて深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、現在、東京都に公益社団法人認可の仮申請の手続きを行い事前審査を受けており、来年4月1日に新法人への移行を予定しておりますが、正式に申請するためには、4月以降の役員を議決していただく必要



野澤議長(右)と田嶋副議長

がございます。そこで、理事監事選考委員会において理事13名、監事2名の役員就任予定者の選考を行いました。提案する次第であります。その他、第3号議案会員会費規程の改定では、従来規定していなかった個人の賛助会員、および団体の会費を定めるものであります。第4号議案では、役員の報酬等に関する規程で、新たに公益社団法人となりましても、今までどおりセンター役員は無報酬とする規程であります。何とぞ慎重審議の上、適切な議決を賜りますようお願いいたします。

次に議長に八幡町の野澤栄一さん、副議長に白糸台の田嶋淳さんの両名が就任、また議事録署名名人に多磨町の片柳玄三さん、朝日町の小場いぶ子さんの二両名が指名された。議事に入り、第1号議案「公益社団法人移行に伴う役員就任予定者の選任」について理事・監事選考委員会の委員長である遠藤副会長から委員会で選考され、本年8月の理事会において議決され、任期は平成23年4月1日から平成25年の6月の定期総会までと説明、満場の拍手で、原案のとおり決定された。決定後、15名の氏名を一名ずつ呼びあげ、舞台中央に順次並んで紹介しました。

次に第2号議案「定款の一部変更」(案)についての説明を遠藤副会長が、第3号議案「会員会費規程の改正」(案)についての説明を渋谷常務理事が説明、第4号議案「役員の報酬等に関する規程」(案)についてを同じく渋谷常務理事が説明、いずれも「異議なし」の拍手で承認された。(具体的な内容は、臨時総会議案書を参照)

次に報告事項について渋谷常務理事より次のようなお話があった。

「5月の総会で決めて頂きました定款に基づいて正式に東京都へ申請をしますが、12月に認定委員会への諮問があり、1月の認定委員会に提出され3月中旬頃に認定される予定です。3月31日に社団法人を解散し、4月1日から公益社団法人として発足する準備を進めてまいります。会員の皆様をお願いしたいのは、

配分金の支払日についてです。現在、配分金は毎月15日を基準としてお支払いをさせていただきました。配分金の原資は、会員の皆様がお客様から請け負った仕事の終了後、請求に基づき、お客様が支払っていただいた代金を充てているものです。しかし、お客様からのすべての支払いがなされないまま15日の配分金の支払日になり、この支払いにセンター運営資金の一部を加えて、何とか皆様の配分金を15日に支給しているのが現状です。

センターの運営は、国、東京都、府中市の補助金なくして活動ができません。その資金の運用も綱渡りの状況です。

そこで、お客様から回収したより多くの資金を配分金に充てなくてはならないため、配分金の支払日を現在の毎月15日を基本的に支給しているものを、平成23年度から25日前後に変更し、センターの安定的な財政運営としたいと考えておりますので、会員皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。詳細につきましては、班長メール便や来年3月に開催される定期総会においてもお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。」

最後に、西田理事から閉会のあいさつがあつて臨時総会は無事閉会となりました。

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>

Eメール [fsc@fsc.or.jp](mailto:fsc@fsc.or.jp)

## 公益法人移行後の援助等を要望

### 野口市長とセンター役員懇談会

厳しい暑さの続く、さる8月18日(水)第5回理事会終了後、野口市長とセンター役員懇談会が開催されました。出席者は野口府中市長、鎌田福祉保健部長、当センター本間会長以下21名の役員です。

渋谷常務理事の司会でセンター役員及び理事の紹介があり、次に本間会長から野口市長に対して日頃のセンターに対する支援についてのお礼を述べられたあと、当センターは市当局の元気で活力ある街づくりに協力する意欲があり、また市の緊急雇用拡大など市の委託業務拡大のお陰で業績は昨



年を上回っているが、平成23年4月1日に公益社団法人となる予定で、運営資金繰りが厳しくなるので、市からの平成23年度補助金及び一時借入金についての配慮をお願いしました。

野口市長からは、懇談会へお招きのお礼と、今後ともセンターの要望などに行き届いた支援をする旨の暖かいごあいさつをいただきました。

次に三部会よりそれぞれ野口市長に対し要望事項を述べました。  
◎棟方総務部会長  
会員増強の場として、市施設を利用したいので配慮願いたい。



市からの発注業務のさらなる拡大をお願いしたい。  
女性の就業機会拡大のために、育児家事援助事業など幅広い支援をお願いしたい。

地域ボランティア活動への参加のため、市の担当課である管理課及び環境政策課と協議しておりますのでご承知おきをいただきたい。

◎小林事業副部会長  
独自事業として刃物研ぎ、着物出張着付けを立ち上げておりますので、ご理解・ご協力をお願いしたい。

市の緊急雇用対策により新規会員の就業機会が拡大し感謝しておりますが、継続しての対応をお願いしたい。

指定管理者制度によりシルバーへの業務の減少のないよう配慮をお願いしたい。具体的には、自転車駐輪場の管理について、今後も引き続き受注できるようにお願いしたい。

◎三坂広報部会長  
センター業務を紹介するために、市広報紙への定期的な掲載をお願いしたい。また、公益社団法人化のPRについても同様に周知したい。

「ちゅうバス」の車内放送を通してセンターの業務・会員募集の紹介が可能であれば、支援願いたい。

以上の要望をお願いして和やかに懇談が進み、今後の支援が十分に期待できる意義ある懇談会でした。

## 平成22年度第2回

### 役員・地域班長合同会議

公益社団法人移行に伴う臨時総会に向け、役員・地域班長合同会議が9月17日(金)午前10時よりふれあい会館会議室にて役員、地域班長さん出席のもと開かれました。

主な議題は臨時総会における正副議長・署名人推せん案、役員就任予定者選任、定款の一部変更、会員会費規定改正、役員報酬等に関する規程(いずれも案)についての説明。質疑応答が行われ、従来の役員・地域班長会議を見直して、実のある会議にしたかどうかの提案もありました。



# 会員の働きぶりが雇用につながる 就業開拓専門員の報告から見た就業状況

リーマンショック以来日本の経済・景気は低迷を続け、平成の大不況とも言われるほど、なお非常に厳しい状況にあると認識しています。

今日では、新卒者の30%強の学生達の就職先が決まらず、日夜「就活」に励んでいる姿が度々テレビ・新聞などで報じられていますが、それほど厳しい雇用情勢にあります。

センターでも会員の就業の開拓確保は最重要課題であると認識しており、「就業機会開拓専門員」2名を配置して活動にあたりておりますのでその概要を報告していただきました。

## 一、活動の目的

①会員の培った豊富な知識・技能・貴重な体験、経験を發揮活用できる仕事を新たに開拓する。

②会員が既に就業されている仕事の継続を確保するための働きかけ・フォローアップ。

③センター事業の目的及び活動概要とその波及効果などの理解を頂く。

## 二、活動の概要

①甲州街道を境に府中市南エリアを高橋和夫会員が、北エリアを竹内鐵雄会員が担当し、エリア内企業・事業者および個人宅などを戸別訪問、会員の就業に繋がる情報の収集・需要の掘り起し・人事関連の課題及び業況の

現状と見直しなどの情報交換

②訪問件数は2名で月平均約170件

③勤務日数は週3日月間平均各12日

④勤務時間は1日5時間

## 三、訪問先企業での会員の就業に対する評価

### (1)プラスの評価

①責任感が強く、仕事を最後まで(時間が少々過ぎても)やり遂げる。

②時間は少々かかるが仕事が丁寧で、できばえがきれい。

③豊富な経験・知識を活かして、様々な提案を積極的にしてくれる。

④表情や言葉づかいが穏やかで対人関係(接遇)がうまくいっている。

⑤室内の清掃などで丁寧な作業が、他の若い社員の手本になっている。

⑥作業の基本動作などを新人に教えたり、面倒見がよく助かっている。

⑦仕事が終わり手がすくと、指示待ちしないで他のことに対応する。

⑧複数の会員が互いに助け合い、問題なく交代勤務を勤めていて安心。

### (2)改善必要点(今後の改善向上を期待して指摘された事例)

①慣れからくる怠業が時々見られる(勤務時間内での喫煙も含む)。

②お客様対応(接遇)で社員と比べて不十分な点が散見される(挨拶の声が小さい)(所作がぞんざい)など。

③指示したことを度々忘れて、仕事に支障をきたしたことがある。

④業務上の約束事を守らない(守れない)ことが時々あった。

⑤若い社員とのコミュニケーション(聴く、尋ねる)が不十分。

⑥責任感・時間意識が弱い人がいる。(遅刻やぎりぎり出勤がある)

⑦意欲はあるが体力不足の人がいる。(作業効率が低い)

⑧仕事の出来ばえが期待した姿と大きく差があり落胆したことがある。

⑨会員同士の仲たがいがあり、職場の雰囲気悪くしたことがある。

⑩仕事中に他社員に無駄な話しかけが多く社員が迷惑したことがある。

## 四、訪問先の業況

(一)管内企業の実態はテレビ・新聞などで提供される経済・景気動向関連指数に比べてさらに一段と悪い状況にあるように感じられました。そして、将来見通しに関しての回答は、多くの企業・事業所で共通した答えが返ってきたのが印象的でした。その答えとは!

「数年先の短期間見通しも不透明かつ不確実です!」

こうした経営環境・背景を考えますと、今後も雇用情勢は更に厳しさを増すことが予測されます。

(二)現在も実施されている不況対策

①経営総コストの低減(聖域を持たない全分野でのコスト削減)

②固定経費を可能な限り低減する

③あらゆる分野で無駄を排除し不要不急の費用を削除する。

④原材料・資材はもとより製品・商品も含む在庫の低減・適正在庫の徹底

⑤経営コストに占める割合の高い人件費は一段と厳しい管理が実践され、超過勤務の認可制を徹底、当面は正社員の雇用はゼロ又はごく少数に抑えている。

⑥社員一人ひとりの業域拡大、一人二役・三役をこなす試みも実施

これらを前提に今後の仕事確保を考えますと、希望する職種への就業はかなり難しく、今後は短期間の仕事、スポット的な仕事のみが増加するように考えられます。

したがって、私たちはどんなスポット的、短期的な仕事でも就業する!という柔軟思考をもつて対応すれば、おのずと仕事確保への道は開けるのではないかと考えています。

また、定期的に就業相談会(個人面談)を実施して、会員一人ひとりの情報交換を密にして、的確な就業の機会確保に努力します。

この試みとして本年度第一回目の相談会を10月6日に開催しました。

未就業の会員の方は、毎月配付される仕事情報資料を確認されたり、事務局へ電話連絡するか、直接事務局に足を運ばれて情報収集されたり、或いはパソコンを活用してセンターのホームページから情報入手するなど、多様な取り組みを実践されて、よい就業機会を確保されることを期待しています。

(竹内鐵雄記)



# 公益法人化関係の質疑で賑やか

## 地域懇談会市内11地区で開催

平成22年度の地域懇談会が、紅葉丘、住吉、白糸台、新町、片町、武蔵台、中央(1〜2)、是政、西府、四谷の11地区に於いて6月から8月にかけて各文化センターなどで開催されました。

本年度は会長、副会長、事務局長(代理)の各役員が各地域を分担して出席しました。

各懇談会では役員のおいさつの後、平成21年度実績と平成22年度現況報告、公益法人移行を来年度に控えて①社会奉仕活動(ボランティア)への参加・促進②公益法人への移行対応等、公益法人化で変わる事、課題、配分金の支給日が変わること、及び今後のスケジュール等の説明がありました。

また、臨時総会を開催して、役員選任、定款の一部変更等が図られるとの説明がありました。

各地域とも懇親の場で自己紹介、質疑応答、意見交換など和やかな雰囲気の中で実施されました。

懇談会での主な質疑応答や意見感想等を以下に要約しました。

### ◆質疑・応答

◇ 公益社団法人の意味がわからない。なぜ移行するのか。

：法改正により、公益法人が一般法



人かの選択により当センターは、公益事業として実施していくためです。

◇ 仕事の見つけ方が分からない。待つているが仕事がない等。

：センターホームページ、事務室内に仕事の情報を掲示してお知らせしています。また就業相談窓口で、未就業会員等の相談を受けています。

◇ 施設、学校関連(交通整理、開閉等)の仕事を増やすことはできないか。

◇ 入会して1年3ヶ月、街灯点検のみ。面接で年齢などと言われる。

◇ 仕事情報を見て、担当者に希望を申し出たが採否結果連絡がない。

：仕事が少ないのが現状です。管理的な業務が減少しています。民間は特に条件が厳しい(年齢など)。

◇ 就業率はどうか、未就業者の会員がいるのに募集はどうか。

◇ 同じ職場に何年も就業している人がいる。

：基本は3年ですが契約相手から要望がある場合もありケースバイケースです。

◇ 会員互助会制度の廃止に伴う新たな取り組みの考え方について。

：今後は会員の方が必要に応じて自主的に行う方向で検討しています。

◇ 公益法人の新会計基準に基づく場合、繰越金等公益法人への移行後の現資産はどうなるのか。

：現資金を確保し、安定した財政運営に努める。

◇ 公益法人になるメリットは、補助金の安定的な確保とあるが、国の方針として明確になっているか。

：結果的に公益法人化により公益性が認められ、補助金の確保につながるかと考えている。

◇ 国の補助金削減等により来年度以降の財政運営が厳しいため、会員の会費見直しの方向で検討されているようだが、事務経費削減等で対応できないか。

：補助金対象は、人件費、管理費、事業に必要な経費として定められている。現在の会費千円は、会員との連絡、年4回会報ふれあい・メール便、総

会経費、印刷・郵送代・保険料等で年間1人当たり六千円以上の経費が必要。また、当然経費削減に努める。

### ◆意見・感想

◇ 楽しく働き、仲間にも恵まれ引き続き働きたい。

◇ 80歳を超えているが、楽しく働いている。

◇ 市民のための植木講習を実施して大変喜ばれている。

◇ 学校周辺の交通整理で、ふれあう子供たちからの声がうれしく励みになっている。

◇ 地域懇談会開催の時期を、梅雨時を避けるよう考慮してほしい。

◇ 清掃の仕事で楽しく働いている。

◇ 多摩川清掃ボランティアが町会とダブっている。

◇ 除草10年、楽しく働いている(82歳)。今年度ユニークな地域活動の事例を紹介します。

西府地区では地域会員の親交と活性化を目指して、地域内シルバーの畑を借用し、菜園作り(枝豆、さつまいも、大根)に挑戦しました。種蒔きや除草に汗を流して、収穫の成果を懇談会席上で「枝豆の試食」をして苦労話を交えて楽しみました。

シルバー会員の皆さんが日頃の苦勞話しや、また仕事のやり方を工夫改善して楽しく働いているなどの、参考になる体験談も数多くありました。

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>  
Eメール [fsc@fsc.or.jp](mailto:fsc@fsc.or.jp)

### 入会案内と福引抽選

#### 第50回府中市商工まつり

むさし府中商工会議所主催第50回「府中市商工まつり」が8月6日(金)～8日(日)の3日間、連日の猛暑のなか、大國魂神社境内で開催されました。

125もの企業や団体の出展者ブースが趣向を凝らして展示・即売・相談・PRを競い合い、ステージでは、大人から子供まで楽しめるプログラムも多彩でした。

当センターでは、連日うちわを配布して抽選会を行い、入会説明や活動案内をしました。

また、会員手作りの枝豆の販売などを通じて広報活動として大いに成果が得られたようでした。



枝豆の収穫

### 「生活と食事」がテーマ

#### 第9回安全推進大会開催

7月23日(金)午後2時から、ふれあい会館5階会議室で開催されました。参加者は31名。本間会長、西田委員長のあいさつで始まり、夏を乗り切る健康術『生活と食事』をテーマに、講師は生活編では北野看護士、食事編は大野管理栄養士が、主に「熱中症の予防対策について」のビデオ放映と講演がありました。今回の講演は、今年の夏は梅雨明けから猛暑の連続でもあり、グッドタイミングでした。

熱中症は、高温・多湿の環境(屋内外を問わず)での作業、運動により体内の水分や塩分が失われ、体温調節機能や循環機能に障害がおきる状態で、日射病、熱射病、熱痙攣・熱失神等があります。高齢者は体温調節機能が衰えてきていますので、暑いと感じなくなり、熱中症を防ぐためには、日常生活における注意が基本となるようです。

①水分(スポーツドリンク等)補給をこまめに取りましょう。

②部屋の温度を涼しくしましょう。

③ちょっとした具合が悪いと思ったら、無理をしない。

食事編では参加者全員に「食生活チェックシート」に記入してもらい、それについて説明を受けました。

特に毎日朝食は必ず摂り、更には魚、卵、肉、大豆製品、乳製品、緑黄色野菜、淡色野菜等を1日に必ず意識して摂るよう、バランスのとれた食事を常に心がけることが大切です。

規則正しい生活を心がけ、体調管理には十分注意しましょう。

これからも、屋内外で就業している会員は勿論のこと、皆様は、脱水症状にならないように、のどが渇かなくとも水分をこまめに補給し、この夏の猛暑を乗り切りましょう。



### シルバー川柳応募作品

前略に 勝るものなし 老いの筆

亡き父母に一筆啓上 暑の見舞い

(片町) 岡 一郎(莞弥)

仕分け人我が家にもいた白スーツ

水戸黄門ポリウム上げる鬼の留守

百歳まで生きていいかと嫁にきき

紅・白粉(べにお) さしても 席はゆずれられる

千の風にあこがれはずむダイエット

食卓に向かう時だけ 背すじ伸び

主婦・ババと受話器を耳に使いわけ

認知症 我が家の迎え火さがす盆

(紅葉丘) 荒川 京子

均等法 産休欲しがる 釣りバカ社員

(天神町) 三坂 益路

初めてのシルバー川柳に3名11句の応募をいただきました。

みななるほどと納得する句ばかりで優秀つけがたく、全員に記念品を差し上げます。

引き続き会員の皆様の投稿をお待ちしています。

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>

Eメール [fsc@fsc.or.jp](mailto:fsc@fsc.or.jp)

**新メンバー紹介**  
7～9月の新入会員

小川勝侯 靖江	岡美好 一郎	佐藤貞夫	鹿島章弘	鈴木住吉	柏木義雄	町田治彦	金井靖雄	岡野茂	入江泰佑	清水が丘	増坪洋	星白糸台	若松清	中村禎助	加藤忠男	朝日厚夫	鶴岡厚夫	武蔵台	羽鳥文子	天神弘	中川昭一	有馬昭一	丹生憲司	吉田浩子	長尾弘	滝口清	晴見早美	小澤早美	神本晃	宮西	7月入会
小林民雄	計13人	大島金作	日鋼公佑	熊田裕	池田平	工藤富男	牛尾勝	小柳治郎	白糸台	谷口国広	濱田孝子	西原	馬場泰浩	武蔵台	大谷薫	中澤勲	宮崎	中島清子	宮西	計29人	高橋慎一郎	佐藤	高橋	高橋	角丸	佐野	鈴木	石川	蛭川	日鋼	8月入会
大坪勝美様	梅澤成年様	伊藤茂男様	酒井昭吾様	北山	ご冥福をお祈り 申し上げます。	男13人女6人 計19人	大谷美奈子 中島チトリ	分梅町	佐藤イミ子	美好町	坂井昌夫	前田紀紘	安井豊	浅井克明	是智	清水智代	小原京子	倉持昭雄	清水が丘	高橋	佐藤	高橋	高橋	角丸	佐野	鈴木	石川	蛭川	日鋼	9月入会	

**「ゆうゆう」便り**



『ゆうゆう』を会場に、最近始めた事業を中心にご案内します。

どうぞお気軽にご利用ください。

①「小物の手作り」(手づくり班)  
毎月第2・第4木曜10時から16時まで  
小物作り班が楽しく作品を制作しています。自由参加です。一般の方もお気軽にご参加ください。

②「刃物研ぎ」(刃物研ぎ班)  
毎月第4土曜日10時から14時迄受付  
9月25日(土)が初回でしたが、大変盛況でした。皆様もご利用ください。

③洋服のリフォームを承っています。  
リピーターも多く、大変好評です。

月・水・金 10時～16時

④その他「ゆうゆう書道教室」「布ぞうり教室」はいずれも好評です。

「粗大ゴミシール」「ゴミ袋販売」「会員の手作り作品の販売」等取り扱っています。

詳細は電話042-351-8695まで

**会員作品展のご準備を**

第16回会員作品展が左記のとおり開催されます。出展される方はそろそろ作品の準備をお願いします。

会期 平成23年2月4日(金)～7日(月)

会場 府中グリーンプラザ5階 展示ホール

募集 平成23年1月4日～21日

出展ジャンル  
絵画、写真、書、彫刻、工芸、手芸、小物、その他

**会員演芸大会  
ふれあいまつり 開催**

ふれあいまつりが左記のとおり開催されます。出演希望の方は後日ご案内いたします。

開催日 平成23年2月7日(月)

会場 府中グリーンプラザ  
けやきホール

演目  
民謡、踊り、詩吟、長唄、手品  
コーラス、カラオケなど

**配分金支払日**

11月15日(月)  
12月15日(水)  
1月14日(金)

**就業相談日**

11月9日(火)  
12月14日(火)  
1月11日(火)

午後1時から4時まで。  
事前に事務局に連絡の上お出下さい。

**編集後記**

本号の巻頭を飾るのは、平成22年度「臨時総会および恒例の「市長との懇談会」の概要、公益法人移行に伴う役員就任予定者の選任、また、移行後の課題・援助等の要望事項であり、来る23年度に向けてセンターの着実な歩みが語られています。

また、会員の就業機会の拡大を陰で担う「就業開拓専門委員」の力強い活動内容が紹介されています。

最後に、前号でご紹介済みの読者投稿「シルバー川柳」の初回発表が本号で囲み掲載されており、毎号継続のお楽しみペーじ欄として、今後、会員の皆様方が積極的に育てて頂きたいテーマ対象記事です。(広報部 三坂)

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>  
Eメール [fsc@fsc.or.jp](mailto:fsc@fsc.or.jp)



9月30日 臨時総会 公益法人移行時の新役員予定者



8月6～8日 商工まつり



8月18日 市長との懇談会



商工まつり(枝豆販売)



9月17日 班長役員合同会議

平成22年度 安全就業標語

優秀作品入賞作品 上杉 洋子 会員作

「身につけよう 正しいルールと 優しいマナー」



会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう

ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>

Eメール [fsc@fsc.or.jp](mailto:fsc@fsc.or.jp)